



同納骨所には、

桜 咲く、爽やかな気候のもと、3月27日(土)28日(日)大光寺のご門徒の皆様と、大谷本

# 大谷本廟へ納骨



発行 寂靜山 大光寺 住職 藤範雅史

廟へ納骨に行ってきました。ご存じの方も多いた。ご存じの方も多いた。ご存じの方も多いた。ご存じの方も多いた。

古くから多くの大光寺門信徒みなさまのご遺骨が納められてきました。浄土真宗の門信徒として、これからも宗祖・親鸞聖人の墓所のお側に納骨するということも大切にしていきたいものです。例年は3月の最終土曜日の午後2時に現地集合し、納骨・読經を行うのですが、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、止む無く中止といたしました。本年もコロナ禍ではありましたが、感染症対策のため、納骨日を2日間に分け、時間を10時から3時までの時間に区切り、1つの時間に1家族としてそれぞれに納骨を行いました。9家族・12体の御遺骨を納めさせていただいたことです。お寺からは次の基準で対象となるご家

・お亡くなりになられてから10年以内の方  
・1周年を済ませた方  
・大谷本廟に納骨を済ませている方  
に毎年2月頃ご案内をしています。納骨を予定される方は、3月の最終土曜日を空けておいてくださいますようお願いいたします。



族にご案内をしています。案内が来ないからと言って納骨することができないということはありませんので、ご希望の方はお寺までお問い合わせください。

# 教へて住職!

**永** 代経とは、簡単に表現しますと門信徒の方々によるご懇念によつて、お寺が立派に護持され、お念仏の教へが永代に受け継がれていく法要です。

それは、故人を偲ぶとともに、いのちを恵まれた私たちが、法要をご縁として、仏恩報謝の心を表すことであり、その心はやがて子や孫に受け継がれ、み教へを聞き広めるご縁となります。

ご法義を大切にされる方々の思いが、永代経法要であるといえます。

永代経は、正しくは「永代祠堂経(えいたい)

じょうむやうのつ)」「と書き、「無量寿経」や「阿弥陀経」のような経典の名前ではありません。

「永代」とは寺院が存続する限り永遠・末代にいたるまでと言つ意味で、

**Q 永代経って何ですか？**

**Q 永代経と永代供養は違うのですか？**

**Q 永代経を納めたら後は何もしなくてもいい？**

たしました懇志は、仏法興隆・寺院護持発展のために活用されますと同時に亡き人をご縁としてお経が勤められます。

特定の故人や〇〇家先祖代々への追慕を機縁と

「祠堂(じょうむやう)」とは仏像・その他を祠まつつた御堂という意味があり、つまり本堂並びに寺院のごことを言います。

寺院本堂・仏法が永代にわたつて護持されることを願つて営まれる仏事が永代経です。

この願いのもとに納め

られるものを永代経懇志

といひ、これはまとまつた額の現金であったり、お寺で使用される仏具であったりと様々です。仏具の進納をお考えの場合は、まず住職にどのような仏具が必要なのかをお尋ねください。

現金としてお預かりい

し「将来の子々孫々にまで大切な仏法が伝えられてゆくように」という施主様の尊い願いがこめられていくのです。

**多** くの方は最初にあらる一定の、まとまつ

た金額をお寺に納めておけば、後はほつたらかしにしておいてもお寺が勝手にお経を勤めておいてくれるのが永代供養と思われていたようです。しかしこれは誤った考え方

後々トラブルになることも多いので、事前に必ず住職と相談されることをお勧めします。

永代経の名目について一般的に、故人の法名「釋〇〇」を掲げて申し込まれる場合が多いのですが、範囲を広げて「〇〇家先祖代々」とされても結構です。

また生前に御自分自身の永代経を申し込まれる場合もあります。

基本的にごどのような立場であつても永代経を申し込むことが出来ますが、以下のような立場の申込が目立ちます。

①諸般の事情(例:家督を継承すべき跡継ぎがない等)により、将来的に家で仏壇を護持し、仏事を勤めることが困難で

ある。

②跡継ぎはいるが、多忙のため法事などを勤めることが難しい。

③日常的に仏事を営んでいるが、更なる故人への菩提のため、仏法興隆のため、寺院の護持発展のため尽力したい。

お申込の流れ

(1)住職に申込の意をお知らせいただく

(2)受理・手続を開始

(3)開闢「かいびやく」

法要実施

開闢法要とは本堂にて願主・ご家族・親戚方にご参詣いただき、大光寺阿弥陀如来の尊前で永代経に加わることを奉告する法要(20分)

種別	懇志額	お扱い	お勤め
特1種	100万円以上 同等額の仏具	種別相応の記念品 感謝状	個別月忌 (50年間)
特2種	50万円以上 同等額の仏具	種別相応の記念品 感謝状	個別月忌 (30年間)
1種	30万円以上	種別相応の記念品	個別祥月 (30年間)
2種	15万円以上	種別相応の記念品	祥月総経 (30年間)
3種	5万円以上	種別相応の記念品	祥月総経 (10年間)

弱いです。  
(4)以上で手続きは完了ですが、日ごろお寺に縁遠い方は年に1回でも本堂にお越しいただき「故人・

先祖を偲ぶ報恩感謝のおつとめ」をされる事をお勧めいたします。  
※大光寺の永代経種別は次の通りです。

※〇〇家先祖代々は特2種以上です。

- A 寺院本堂・仏法が永代にわたって護持されることを願って営まれる仏事が永代経です。
- A 永代経と永代供養は違います。後々のトラブルを避けるためにも必ず事前に住職に相談しましょう。
- A 永代経を納めたからと言って後は何もしないというのでは本末転倒です。永代経を納めたからにはお寺にお参りするのが納めた者の責任とも言えるでしょう。どうぞお寺にお参りください。

浄土真宗門徒としての基本的な、とても大切な事柄です

## 浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗（じょうどしんしゅう）  
 宗祖（ご開山） 親鸞聖人（しんらんしょうにん）  
 ご誕生 1173年5月21日（承安3年4月1日）  
 ご往生 1263年1月16日（弘長2年11月28日）  
 宗派 浄土真宗本願寺派（じょうどしんしゅうほんがんじは）  
 本山 龍谷山本願寺（西本願寺）  
 本尊 阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）  
 聖典

・ 釈迦如来が説かれた浄土三部経

『仏説無量寿経』 『仏説観無量寿経』 『仏説阿弥陀経』

・ 宗祖親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文） 『浄土和讃』 『高僧和讃』  
 『正像末和讃』

・ 中興の祖蓮如上人のお手紙

『御文章』

教義 阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活 親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門 この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。



法事などでお伺いすると、香炉の灰を綺麗にならしてください。細かなことですが、仏事への心遣いを感じて嬉しく思います。

大変丁寧で有難いのですが、平らにならしていると、ふちが盛り上がり上がってしまい、お線香を寝かせて入れると火の点いた先が盛り上がった灰に埋もれて消えてしまうことがあります。

そうならないコツとして、左の写真の真ん中のように灰の中央を少し盛り上げてならしてください。すると、火が消えにくくなります。

いつもお心遣いありがとうございます。

ちよつと小話

# 新型肺炎【COVID-19】に伴う お参り等対応について

新型コロナウイルスにより、不安の中に生活を送っておられることと存じます。私も、あたりまえと思っていた寺院活動が次第に今まで通りできなくなっていることに戸惑いと不安を覚えます。しかし、こういう不安で先の見えにくい時にこそ本領を発揮してくださるのお念仏のみ教えではないかと思えます。こういう時だからこそいつも以上に手を合わせることを、仏様と向き合うこと、仏法を聴聞することを大切にしたいものです。

これまでのところ、ご自宅へのお参り、年回法等の法事、葬儀関連の仏事はいづれも予定通りお勤めさせていただいておりますし、今後の予約も変わりなく受け付けております。ご門徒の皆様の中にはワクチン接種を済ませた方もいらっしゃるでしょう。でも、忘れないでいただきたいのは、ワクチン接種は任意であるということです。中には受けていない方もいらっしゃるかもしれません。そして、ワクチンを接種したからと言って、「コロナウイルスにかかるとはならない」と勘違いしないことです。お寺では当面、以下のように進めてまいりますので、何卒ご理解のうえ、ご配慮・ご協力いただきますようお願いいたします。

合  
掌

## ご協力をお願いいたします

- ・ 部屋に応じた密集しない人数に絞ってお参りください。
- ・ 必ず窓を開ける等の換気をしてください。
- ・ 住職への茶菓の接待はご遠慮ください。
- ・ なるべく公共交通機関を利用せずに集まりましょう。
- ・ 家人に風邪症状のある方の参拝はご遠慮ください。
- ・ 換気・手洗い・人と人の距離の保持にご配慮ください。

※住職が日常勤務しております京都市は、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が頻繁に適用されています。私自身も配慮して伺いますが、念のため読経中は住職との距離を最低でも1m以上開けていただきますようお願い申し上げます。

※何れの場合もお参りいただく方にはマスクの着用をお願いいたします。

※人と人の距離が確保できない場合はお寺の本堂でお勤めすることもできます（本堂使用料1万円申し受けます）ので、ご相談ください。

今回も私の友人である、北海道の名和先生から仏さまのお話を寄稿いただきました。



### 童謡詩人の金子みすずさんは、二十六歳で亡くなるまで、たくさん

さんの詩を残されました。みすずさんの深い洞察力は、私たちが普段気にもとめないような小さないのちや、物事に対してそそがれており、それは幼いときにお寺でお坊さんから聞いた阿弥陀さまのお話が大きな影響を与えていると言われています。この「土」という詩からもうかがえるように、みすずさんの詩は亡くなって数十年たった今も、私たちに大切な気づきを与え、同時にいかに私の物の見方がいかに自分中

## 土

金子みすず

こつつん こつつん  
打(ぶ)たれる土は  
よい畠(はたけ)になって  
よい麦生むよ  
朝から晩まで  
よい路になって  
打たれぬ土は  
要らない土か  
いえいえそれは  
お宿をするよ

踏まれる土は  
車を通すよ  
踏まれぬ土は

名のない草の

心で、利己的な見方であるかということを見せてくれます。

## 以前、新聞の記事に

土地の値段のことが書かれていました。今日本で一番土地の値段が高いのは東京の銀座だそうです。一等地は一坪1億9千万円以上するそうです。ハガキ大の大きさの土地を買おうとすると85万円もかかるそうです。私の住む三笠市は一坪2万円です。どちらが価値があるかといえば、

銀座と多くの方が答えるでしょう。でも「大地」という面では銀座も三笠も変わりません。「大地」はあらゆるいのちを育てています。素晴らしいはたらきを持っているのです。

しかし私たちが銀座の土地の方が価値があると思っています。価値があるかないかの基準はすべて人間の都合です。

## 花

花を見てもそうです。花はきれいで見ばえのいい花は価値があると思います。花瓶に入れ丁寧に扱って、床の間に飾りますが、そこらへんに生える邪魔な草は「雑草」と呼び、おうちの中で飾る人を私は見たことがあります。しかし植物は動物にとつて大切な酸素を作ってく

れています。無駄なものはいつもありません。とはいえ、雑草をそのままにしてはおけないので、「邪魔だ」と私はその草を抜いたり、除草剤を吹きかけ、枯らします。以前、私の友人が、バーナーで草を焼き払ったところ、炎で熱せられた大地から、たくさんのお虫が苦しむように這い出てきたそうです。全部私の都合です。

## 自分中心、私の価値観は、時に自分自身をも不幸におとしねます。「若くて健康ないのちこそ価値がある」と考える人にとって、老いて病気になる、死ぬことは不幸でしょうかありません。となると、老病死から逃れられない私たちは「不幸な存在」なのではないでしょうか。それではあまりに自分のいのちの見方としては寂しすぎます。自分自身がかわいそうです。私たちが阿弥陀さまの教えを聞かなければなら

ない理由がそこにあります。『仏説無量寿経』というお経には、阿弥陀さまのお慈悲のお心は「十方衆生(じつぽうしゅじょう)」つまり、あらゆる世界の私たちが気づかないような小さな生き物にまでさえ、そそがれていると教えられます。「無駄ないのちはこの世に一つもない」と言い、そのはたらきによっていづれ「仏となるいのち」として、その尊さをこの私に告げてくださっているのが阿弥陀さまです。私中心の物の見方を離れ、阿弥陀さまの大きいなる慈悲のお心に触れたとき、初めて私は私のいのちの尊さを知らされるのです。そして、たとえ病であっても、老いてしまっても、「生きてきてよかった」と思える教えに私たちは出遇わせていただいているのです。それが浄土真宗の教えなのです。

## 私たちのちかい

- 一、自分の殻(から)に閉じこもることなく  
穏(おだ)やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑(ほほえ)み語りかける仏さまのように
  
- 一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように
  
- 一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲(じひ)に満ちみちた仏さまのように
  
- 一、生かされていることに気づき  
日々に精一杯(せいいっぱい)つとめます  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

私たち浄土真宗の門徒は、日々の生活の中で  
このちかいを大切にしています

### あなたは、何を願って生きていますか？

人は皆、幸せを願って生きています。しかし、もう少し正確に言うと、人は皆、「自分の幸せ」を願って生きているのではないのでしょうか。

ところが、「すべての人の幸せ」を願い、はたらき続けてくださっている方がいらっしゃいます。

それが、阿弥陀如来という仏さまなのです。この仏さまの願いに出遇あった時、「自分が幸せだったら、他人はどうでもいい」「好きな人には幸せになってほしいけれど、嫌いな人はどうでもいい」と思っている、自己中心の自分に気づかされます。そのような自己中心の心から離れられない私たちは、どのように生きていったらいいのでしょうか。

仏さまと同じには成れないけれど、仏さまの願いが尊い願いである、と受け止めて生きていくことは出来ます。そして、そこに、仏さまのまねごとしか出来ないけれど、出来る限りのことをさせていただくという生き方が、生まれてくるのです。

それを具体的に表わしたものが、「私たちのちかい」です。

### 帰敬式とは

**私**たちは、ひとりです。生きていけるほど強くはありません。弱い私を見抜いてくださり、「いつでもあなたとともにある」とはたらいてくださっているのが阿弥陀如来です。

阿弥陀さまに支えられ、励まされながら90年の生涯を生き抜かれた親鸞聖人。

聖人が伝えてくださった「南無阿弥陀仏」を依りどころに生きてゆく第一歩として受けていただく儀式が「帰敬式」です。

### 受けとらなさい

## 帰

敬式を受けると、法名をいただきます。ん？法名？いつも身内が亡くなったから就職がつけてくれるアレかい？と思われる

た方はいらっしやいますか？そのアレです。本来は亡くなってからいただく名前ではなく、生きていくうちにいただくのが本筋です。

**お**釈迦様は「仏教」を発見してください。私「仏になれる道」として「南無阿弥陀仏」を伝えてくださいました。

「私はひとりではなかった」という、よろこび・自覚を新たにする時、ご門主様よりいただく名前が法名です。

# 帰敬式を受けましょう

## どうすればいい？

**帰**敬式を受けようと思われたアナタ、まずは住職にご相談ください。詳しく説明させていただきます。

### 場所

帰敬式は京都の西本願寺で受式できます。

### 時間

帰敬式は1日2回、原則毎日行われています。

**阿**弥陀さま（南無阿弥陀仏）は「決してあなたをひとりぼっちにすることは無い。」と誓い、すでに私のところへ働いてくださっています。

いのちが終わってからも入りたい場合は、先の「法名の内願について」をお読みください。

時間は、朝のお勤め（6時〜）に引き続き、午後1時30分〜（日によっては午後1時〜）の2回です。

### お金（御布施）

帰敬式を受式する冥加金（御布施）は、成人の方は1万円、未成年は5千円です。

### 法名の内願について

特に希望する法名（文字）がある場合、法名を内願することができます。

この場合住職の承諾が必要ですので必ずご相談ください。なお、別途1万円の冥加金（御布施）が必要です。



### 注意ください

帰敬式を受ける際は次のことに注意ください。

- ・帰敬式を受式して授かる法名は西本願寺のご住職（ご門主）からいただく法名です。お経や聖教から私たちに相応しいお名前を授かりますので、自分の名前の漢字一文字が入っていません。どうしても自分の名前の漢字を入れたい場合は、先の「法名の内願について」をお読みください。
- ・「帰敬式」は必ず本人が受式しなければいけません。代理の受式はいかなる理由があっても認められません。

- ・帰敬式の受式は、住職に内緒で行っても受けられますが、必ず帰敬式が行われる時間の1時間前に、西本願寺の「龍虎殿」で受付を済ませていただきます。

## 永代納骨（合祀）墓があります



令和3年1月、大光寺の境内地(敷地内)に永代納骨(合祀)墓が出来ました。

近年増えてきた「墓じまい」後の御遺骨の埋葬や、新たにお墓を建立しない方の大切な方の埋葬ができます。

申込書は大光寺のホームページからもダウンロードできます。

詳細はお寺までお問い合わせください。

◎納骨懇志（御布施）

- ・大光寺門徒 1体につき15万円以上
- ・大光寺門徒以外の方 1体につき20万円以上

## お寺の法要にお参りください

お寺の法要へのお参りは浄土真宗門徒、大光寺にご縁のある全ての方々の大切な営みです。先人の言葉に「1日1度は家庭のお仏壇にお参りしましょう。月に1度は手次の寺にお参りしましょう。年に1度は本山本願寺にお参りしましょう。」とお勧めくださっています。

特に報恩講には必ずお参りしましょう。

## 大光寺の法要・行事予定

- ・ 8月12日 午前10時より 盂蘭盆会
- ・ 9月25日 午前10時より 秋季彼岸会
- ・ 10月20日 午後2時より おみがき
- ・ 10月24日 午前10時より 親鸞聖人報恩講
- ・ 12月31日 午後11時30分頃 除夜の鐘
- ・ 1月1日 午前10時より 元旦会



# 西本願寺の常例布教がインターネットで生配信されます

## 常

例布教ってご存知ですか？もし

かしたら大光寺のご門徒の方では、ご存じない方のほうが多いかもしれません。

常例布教とは、あらゆる機会をを縁として仏さまのお話を聴き、わたしの「いのち」を見つめ直す尊いひとときです。

浄土真宗のみ教えを詳しく、わかりやすく、全国の浄土真宗の布教使が定期的にお話をしていることを言います。

京都の西本願寺では、毎日、全国の別院（有名所では東京の築地本願寺・和歌山では鷺森別院）では月に1回、3回行われています。

## 残

念ながら当寺院をはじめとして

多くの一般寺院ではこの常例布教を行えておりません。大きな理由の一つとしては経済的な面が大きいかと思えます。

日常でお寺を維持していくことが精一杯のお寺では、布教使の先生にお越しただいて、お話をしていただくことが非常に困難です。

講師の先生への謝礼や交通費、お越しいただく場所によっては宿泊費等が必要になります。私としては住職を継職して以来この常例布教をできませんでしたかと思案しております。

できないまま今日を迎えております。

## 京

都の西本願寺ではこの常例布教を毎日行っています。

技術の発展に伴い、この常例布教がインターネットで配信されるようになりました。

## 毎

日午後2時から、YouTubeで

配信されていますので、ご門徒の皆様には是非御聴聞いただきたいと思えます。左のQRコードを読み取ってご覧ください。

毎回『かがやき』に御法話を寄稿いただいている北海道の名和先生にもお会いできるかもしれません。※動画の視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォンやタブレットでご視聴の場合は、

Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



# 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

二〇二三（令和五）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたり、また、その翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎えする年となります。

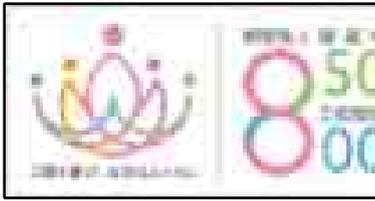
『教行信証』は、私たち浄土真宗の門徒が日々、私たちが日頃からお勤めをする「正信偈」をはじめとして浄土真宗成立の根本が親鸞聖人によって示された大切な書物です。

京都西本願寺では、二〇二三（令和五）年3月から5月に、5期30日間、おたり、その慶讃

法要をお勤めいたします。親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をともにお勤めさせていただきますよう。

場所	西本願寺
第1期	3月29日（水）
第2期	4月3日（月）
第3期	4月10日（月）
第4期	4月15日（土）
第5期	4月24日（月）
第6期	4月29日（土）
第7期	5月6日（土）
第8期	5月11日（木）
第9期	5月16日（火）
第10期	5月21日（日）

時間  
基本的には  
午前10時  
午後二時  
の一日二座  
・時間変更  
の日もある。





大光寺のホームページを開設しました。ご門徒様向けの情報を発信していきますので、どうぞご覧ください。

ホームページ開設！



本堂

法事等で本堂を使用する場合、本堂使用冥加金として金10,000円のご進納をお願いしています。

護持費の納入をお願いいたします

毎年すべてのご門徒様に護持費(10,000円)の納入をお願いしています。お納めいただきました護持費は本堂をはじめとする諸堂宇の維持管理や、仏さまへの御仏飯・お花・お線香等のお供えに充てさせていただきます。何かと厳しい折大変恐縮ですが、ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お願い

ご法事等、お参りのお電話をいただく際、日程に比較的余裕をもってご連絡くださいますようお願いいたします。少なくとも希望日の1カ月前を目途に、候補日を2つか3ついただけると大変助かります。職場での勤務調整をしなければいけませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

住職直通の携帯電話はコチラ⇒ 090-7488-5765

ご祥月法要のお参りについて  
 住職を継職してから、月忌参り(常速夜)を休止しております。  
 祥月命日(故人の正当のご命日)はお参りさせていただきますので、ご希望の方はお寺までご連絡ください。  
**大光寺 0736-42-3055**

